

04

〔業務改善助成金〕

トラックから直接搬入、トラックへ直接搬出可能な冷蔵庫を設置することで、作業に要する時間を短縮し、業務効率化を図る。

長崎地産生鮮協同組合

(海と大地のめぐみ) <http://www.shokokai.or.jp/42/422014S0033/index.htm>

代表者 ■ 代表理事 山崎利博
事業内容 ■ 小売業 (農水産物直売所)
所在地 ■ 長崎県長崎市京泊3丁目 1929-41
TEL.095-860-1200
社員数 ■ 12名 (男性2名、女性10名)



《会社の特色》

社名の通り「地元でとれた青果、魚、果物」などを、より新鮮によりお安く提供できるよう日々頑張っている「道の駅」的な店舗。従業員の大半は女性で非常に明るい雰囲気職場です。男性も社長を含めスタッフ全員で頑張っています。

課題と対応

冷蔵庫の入り口が狭く、台車が入らないため、入庫作業の際に手作業で何回にも分けて運ばなくてはいけなくなり、スタッフの負担が大きい状況でした。そのため助成金を使い、大型冷蔵庫を購入しました。

導入前 (きっかけ)

従前に使用していた冷蔵庫は、入口が店舗内作業場の方しかなく、また、扉の幅が84cm程度と狭く、庫内が2つに分かれていたため、商品の出し入れがスムーズにできませんでした。そのため、入出庫作業の際は、ほとんど、商品を1箱ずつ手作業でトラックの荷台から店舗を通して搬入していた状況でした。作業効率が非常に悪く、改善する必要がありました。



導入後 (効果)

冷蔵庫を取替え、搬入搬出口を店舗内と店舗外の2か所にしたため、トラック荷台から、そのまま冷蔵庫に搬入できるようになり、搬出も扉の幅が広がったことにより、台車に乗せてできるようになったので、作業効率が非常に上がり、体力的な負担も軽減されました。また、冷蔵庫の性能が向上したことで、生鮮商品の鮮度維持が向上しました。



導入内容や仕組み

大型冷蔵庫を購入するとともに、扉を店の外にもう1箇所設け利便性を向上させました。トラックからそのまま搬入できるというメリットがあります。庫内をセパレートにしないことで、台車で冷蔵庫にそのまま入れるようになっています。

店内側の扉はスライド扉とし、また幅も約100cmに広げて、搬入・搬出を容易にしました。



地元の生鮮食品が並ぶ店内



冷蔵庫の商品の搬出入にかかっていた時間が半減し効率化ができた

POINT

助成金活用のポイント

冷蔵庫への搬入や搬出作業に必要な時間を50%程度短縮することができ、労働能率の増進を図ることができました。そして、従業員全員の時間給を60円引き上げました。

会長の声

搬入・搬出時間が大幅に減り、その分、サービスが向上しました



代表理事
山崎利博さん

社員の作業効率が良くなり、搬入、搬出時間が大幅に減った事で、接客、品出しが十分にできるようになりました。また、容量が大きくなった分、余裕をもってストックできるようになったので、在庫のロスも減りました。新型の冷蔵庫なので電気代がかなり安くなり、その点でも助かっています。全体的に生産性が向上したことで、従業員全員の時給を引き上げることができ、仕事に対するやる気もアップしたようです。職場の雰囲気もさらに明るくなった気がします。

社員の声

商品の品質管理が向上、宅配便の送りもスムーズに！



性能が良い新しい冷蔵庫の導入されたことにより、多くの野菜や果物の鮮度を長く保てるようになり、野菜や果物の傷みが減りました。また、冷蔵庫が増えたことにより、商品の在庫の管理がしやすくなりました。宅配便の商品も、安全に保管できるスペースができ、クール便での送りがスムーズになり、とても助かっています。

(30代 男性)